

西区会

諸活動順調、4ブロック制端緒、
役員体制も見直し中です
西区会会長 (生 11) 茅中英一

西区会の緒ボランティア活動は関係会員の尽力により概ね順調に推移しています。例えば「コー口むつみ」は、12月13日(土)恒例の特別養護老人ホーム「永栄園」(伊川谷町長坂)を友愛訪問し歌声を披露、デイサービスの方々と楽しい時間を過ごし交流を深めました。また「竹の台小・児童見守りパトロール」も5月に500回を超えた後も毎日続けられています。また、平成20年度の西区会重点施策の“近隣会員の顔が見え支え合うことを目指す”「4ブロック制」は、各ブロックともコミュニケーションを良くするための様々な会合やイベントを実施しました。ただ会員の様々な事情もあり、まだ緒についたところです。今後解決すべき課題もあります。そして、当会の更なる活性化のためには、これまでの種々な経緯から今日に至っている役員体制の見直しも必要となり8月以降毎月の幹事会で検討を続けて来ました。現在の諸活動がスムーズに次世代へバトンタッチされ、新しい活動も加わり会員があまり無理せずに参加できて少しでも支え合えるような形をつくる・・・これを推進出来る役員体制が整えれば良いのではないかと考えます。

今後幹事会で煮詰めて平成21年度の当会定期総会で決定予定ですが、基本的な考え方は下記の3点です。

1. 新陳代謝により役員組織を活性化するため役員任期制を検討する。
2. 諸活動がスムーズに継承できるよう様々なバランスを配慮した体制とする。
3. 役員負担の平準化と総合力発揮のため役割分担制を導入する。



コー口むつみの老人ホームでの歌声披露

福祉部会

「耳マーク」を知っていますか!!
どこかで見かけたことありますか?
福 12-福 一森美代子

私達オアシスグループは、情報ぎやらりー第42号で福祉部会から、新グループとして立ち上げました。

当初は「耳マーク」をカレッジから神戸の街へ広げていきたいと、女性5人で「耳マーク」の設置のお願いに出かけ続けていました。

お願いに行くと、ほとんどの方が「耳マーク」を見たことがない、知らないと言われるので、聴覚障害者の人たちが、マークが設置されていると社会参加をする上でいかに不安が和らぐかを力説します・・・

そこで「耳マーク」の設置も大事けれども、設置されていても「これ、何のマーク？」では話しになりません。

まずはたくさんの人に知ってもらいたいと、各自治会の掲示板に貼ってもらえるようお願いしたり、私達が常に耳マークを持参してお知り会い、お友達との寄り合いに「このマーク知ってる？」作戦も開始しました。

そして、神戸市障害福祉課に広報こうべに「耳マーク」の掲載をお願いしていたところ、H20年12月号の「広報こうべ」障害者週間に、人権一口メモとして「耳マーク」が掲載され、オアシスの活動としての嬉しい成果でした。

また、オアシスグループの働きかけにより、神戸市難聴者協会から「耳マーク」普及活動として、活動資金を組んでいただけました。

たくさんの人に「耳マーク」を知ってもらい、主旨を理解していただき、ともに支えあって豊かな社会にと願い、オアシスグループは活動を続けます。みなさまのご支援をお願いします。「耳マーク」設置して頂けたところ

- 20/4月 みなと銀行
- 20/8月 寿々女すし
- 20/9月 神戸空港
- 20/10月 新須磨病院



新須磨病院に耳マーク設置